

○会長挨拶

教育委員会から増築に関して説明がある。いろいろ重要事項があるのでよろしくお願いします。

○校長挨拶

本年度も折り返し。コロナの状況も収まりつつある。一学期にできなかった行事ができています。校外学習で校長が出かけることも多い。よさを感じている。9月の終わり、富士移動教室、10月は弓ヶ浜移動教室へ。ホームページを新しくして閲覧件数も多くなり、移動教室の活動もタイムリーに載せることで児童も活動を振り返ることができている。タイムリーで新鮮な情報を今後も提供していきたい。CSでの情報もHPにのせ、情報共有していきたい。

○増築に関する説明について

・学校整備課 白石係長より説明

(配布資料：高井戸小学校教育環境等整備ニュース、保護者説明会での意見等)

- ・スケジュールについて (資料参照)
- ・平面図について (1階から屋上まで)

・児童青少年課 千葉課長より説明

- ・放課後等居場所事業と高井戸児童館の転用についての進捗状況について
- ・増築等の動線と安全管理について

学童クラブは専用の玄関を設ける。高井戸小の児童は学校の昇降口から専用の玄関を使う。高井戸小の児童以外は、環八側に専用の門を設置し出入りができるようにする予定。放課後等居場所事業のために、玄関等も対応できるようにしている。

会長：再検討している？

→進捗状況を確認しながら進めている。

会長：区長が変わったことも影響していると思う。

→以前示したパターンや、子供の居場所については改めていくこともあるかもしれない。

内藤博孝：学校内で何かあった場合は、学童クラブが責任をもつ。通常管理はどこが責任をもつのか。教員が児童をみていく時間(学童は6時)のずれをどうするのが見えないと、児童館側に教育関係が影響すると思う。教員のなり手が減っていることもある。教員が頑張っていける環境をつくる必要もある。気を付けないと学校の教員の負担が増加しかねない。今後の対応について聞きたい。文書で回答をお願いしたい。教員の負担をこれ以上増やすことは難しい。杉並区で同様の活動が十数校できていることに驚いた。他の部署が管理することを明確にしておくことが必要である。

→学童クラブは、区分所有。児童青少年課が管理していく。多目的室や小体育室は学校の管理。借りるような対応になる。教員の負担が増えることはあってはならない。放課後居場所事業・学童クラブについては、学校に迷惑をかけないようにしていく。(対応人数等も)

会長：一線を引き、管理体制をしっかりとしていくことが必要。他校の実績・事例を踏まえ、学校の心配や懸念に対応してほしい。文書で回答については？

→まとまった形で質問が分かり、方向性が定まった後には、対応できると思う。

会長：方向性がさだまり、文書で回答があることで明確にわかると思う。

内藤博孝：管理組織が2つになることについて。学童クラブと学校との調整について、他校の事例やデータを知りたい。経過等について資料がほしい。CSの一員として、教員の負担が増えることは避けられるようにしたい。

蘆塚：大人の目での話で子供の目からは、教員がいるのにどうして？ということにもなる。大人の理屈を子供に理解できるようにすることが大事だと思う。完全に分けると、学童での出来事を学校に伝える方法も考えて

ほしい。

→これまでの事例だと、学童は生活の場として、別の入り口で迎え、「おかえり」と対応している。一般的に、頻繁に学校の教員に対応してもらう例はないと思う。学校内に学童が入ることで、連携は密になっている。区の児童青少年課の職員が入り対応している。しっかりと対応していく。

齋藤：高井戸小の児童も登録しないと入れない？他校の人も2～3階も入れるようになっているときの管理は？登録していない児童が学童にになってしまうこともあるのでは？

→学童に他の子が入ることはない。

齋藤：2～3階は入れない？既存校舎との出入りが自由だとチェックは難しい。

→既存校舎との入り口は、コーン等を置いて対応する。

内藤：まだ決まっていないこともあると思う。心配事が出ている。

齋藤：学童とわかることが必要だと思う。

鬼澤：2階に上がるときは、必ず誰かがつくなど指導していくしかない。子供たちが安全に活動できることが基本。同じ敷地に2つの管理者がいても安定的に運営できる、ルールや責任等を確認し、原則を文書で確認したい。

内藤：児童の動きを明確にしていくことが必要。

齋藤：3階は理科室・図工室については、鍵の施錠などもしっかりとする必要がある。

青木：学童クラブを使う時間帯は？

→保護者と連絡帳で確認して行う。通常は6時まで。延長は7時まで。登録してもらう。

青木：親からすると学校のあと学童に行くのは安心。高学年がいるのに、という感じもある。

→学校の中に学童の児童が入ることはないようにしていく。子供たちが自覚しルールを守り、行動できるように対応していく。

鬼澤：活動が学校とかぶる時間帯もあるので、しっかりと対応してほしい。

内藤博孝：学童クラブの受け入れ人数と現在の学童クラブの職員等の人数については？

蘆塚：220名の児童に対して職員の数はいくつ？

→常勤6名、非常勤13名。登録児童の人数に応じている。基準がある。人数に応じた配置になる。

鬼澤：決まり次第、体制をしっかりとしてほしい。

○教員人事について（非公開）

校長：道徳地区公開講座の開催と講演会についての紹介

○地域関係団体から

内藤英夫：4年生が社会科の授業で7月に清掃工場を見学し、環境ポスター、作文を作成し提出してもらった。多く集まった。11月13日午後1時30分から子供たちの作品を披露し、表彰式を財団で行う。時間があるCS委員は参加してもらえればと思う。

蘆塚：座・高円寺の会で参加者は同年代の人が多かった。児童が作品を書くなどかかわることが大切だと思った。

鬼澤：10月17日にCSの連絡会があった。メインのテーマが小中連携。高井戸小は4つの中学校に分かれて進学するので連携が難しい。まずは人の連携。学校によってはCSの合同会議もあるとのこと。他校の取組も参考になると思った。

○CS次回は、11月19日（土）午後3時～校長室にて